

#### 23-4 労働者たちは団結しなければならない、彼らを守る超強力な社会的障害物を、資本に強要しなければならない

「彼らを悩ました蛇<sup>へび</sup>にたいする「防衛」のために、労働者たちは団結しなければならない。そして、彼らは階級として、彼ら自身が資本との自由意志的契約によって自分たちと同族とを死と隷属状態とに売り渡すことを妨げる一つの国法を、超強力な社会的障害物を、強要しなければならない。「売り渡すことのできない人権」のはでな目録に代わって、法律によって制限された労働日というじみな大憲章が現れて、それは「ついに、労働者が売り渡す時間はいつ終わるのか、また、彼自身のものである時間はいつ始まるのか、を明らかにする」のである。なんと変わりはてたことだろう！〔Quantum mutatus ab illo !〕」

(大月版『資本論』①P396B1-397の本文)